

在住外国人向け防災行動計画(マイ・タイムライン)検討ツール普及事業
(講習会モデル自治体③:広島県安芸高田市)

実施報告書

2022 年度あきたかた多言語支援リーダー研修会



主催：特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会
報告：一般財団法人 自治体国際化協会(CLAIR)

1. 目的

外国系市民は、母国では日本国内の様な災害が起こらない場合も多いことから、災害時における知識や経験が少ないために適切な避難行動を取ることが難しく、命をなくす危険性が高いと考えられる。

安芸高田市では近年、2021年8月豪雨災害をはじめとする豪雨災害が頻繁に起きている。しかしながら、在住している外国系市民を対象とした防災訓練は少なく、災害時にどのように逃げればいいのかの知識を得られる機会も少ない。そこで、広島県のやさしい日本語による「マイ・タイムライン教材」や自治体国際化協会の「多言語版マイ・タイムライン検討ツール(逃げキッド)」などを活用し、現在あきたかた災害多言語支援グループでボランティア活動に取り組んでくれているメンバー及びインフルエンサーを対象に、マイ・タイムライン活用方法について研修し、今後の更なる外国系市民に対する防災啓発活動へと繋げることを目的とする。

2. 実施日時・会場

日時：2023年1月29日（日）10:00～12:00

会場：安芸高田多文化共生センターきらり 研修室



3. 開催体制

主催：安芸高田市国際交流協会（募集事務・司会進行・ワーク時の補助）

オブザーバー：自治体国際化協会(CLAIR)、広島県国際課・みんなで減災推進課、
安芸高田市危機管理課

4. 参加者

人数：あきたかた災害多言語支援グループメンバー 7名

国籍：日本、アメリカ、タイ、ベトナム、中国

5. 実施内容・スケジュール

No	時間	内容	講師
1	9:45	集合・参加者確認	
2	10:00-10:45	安芸高田市災害多言語支援について (日本の災害について)	広島県 自主防災アドバイザー 明木 一悦 氏
3	10:45-11:15	マイ・タイムラインとは	
4	11:15-11:50	マイ・タイムライン作成方法	
5	11:50-12:00	ふりかえり・終了	

6. 使用したツール

- ・多言語版在住外国人向け防災行動計画（マイ・タイムライン）検討ツール

※各参加者の母国語版を配布

(<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/mtl.html>)



- ・安芸高田市ハザードマップ（水害・土砂災害）

(<https://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/anzen/hm/>)

※紙媒体のハザードマップ冊子を各参加者に貸し出した。



- ・講習会用パワーポイント資料

<p>あきたかた多言語支援リーダーのための研修 マイ・タイムライン編 <small>広島県自主防災アドバイザー 清水一徳</small></p> <p>～一人ひとりの命を守るために～</p> <p>本日の内容</p> <p>あきたかた多言語支援リーダーについて</p> <p>マイ・タイムラインについて</p> <p>マイ・タイムラインの作り方</p> <p>ふりかえり</p>	<p>さいがい とき しんいのち しんまも 災害の時、自分の命を自分で守る</p> <p>災害から自分の命を守る</p> <p>↓</p> <p>災害から家族の命を守る</p> <p>↓</p> <p>命を守るための行動</p> <p>↓</p> <p>マイタイムライン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきたかた多言語支援リーダーは、災害時に外国系市民に、多言語にした情報を知らせます。 ・情報をもたらした人は、いち早く命を守ることが大切です。 ・命を守るためには、逃げることも必要です。 ・逃げるためには、逃げる方法を事前に準備しておくことが大切です。 ・そのためツールが、マイ・タイムラインです。 	<p>みんなで マイ・タイムライン を作しましょう！</p> <p>Akita International Communication Association NOP法人安芸高田市国際交流協会</p>
---	---	---

※3本立ての講義内容、①安芸高田市災害多言語支援について、②マイ・タイムラインとは、③マイ・タイムライン作成方法で使用するスクリーン投影用資料。②・③のマイ・タイムラインに関する項目のパワーポイント資料はクリアが提供したものを素材としてご使用いただいた。

7. 各実施内容のねらい

講習会開催にあたって

・受講対象者の選定

単に外国系市民を対象にするのではなく、災害時の連携体制や集客のことを考慮し、まずは市内の多言語情報伝達におけるキーパーソンとなる、あきたかた災害多言語支援グループメンバーに対して講習会を実施することとした。

【講義】安芸高田市災害多言語支援について（日本の災害について）

・日本の災害に関する基礎知識の確認

地震・津波・台風・大雨などといった、日本で起こり得る各種の災害を全体で改めて確認するとともに、阪神淡路大震災をはじめとする過去の大規模災害や、広島で起こった豪雨災害を写真・動画とともに紹介することで、災害基礎知識を共有し防災の必要性を認識していただいた。

【講義】マイ・タイムラインとは

・平時からの取組の重要性、及びマイ・タイムラインの必要性を確認

あきたかた多言語支援リーダーの役割の1つとして、災害時の多言語情報発信があるが、単に災害時だけ避難情報を発信しても、逃げ方がわからず逃げ遅れてしまう可能性がある。したがって、防災においては、災害時だけではなく平時の取組も重要である旨を説明し、マイ・タイムラインの必要性を認識していただいた。

【講義】マイ・タイムライン作成方法

・避難行動について「知る」「気づく」「考える」機会の提供

日本に住んでいれば災害についての情報に触れる機会が多いものの、外国系市民が自力で自分の避難行動について考えるのはハードルが高い。その点、多言語版マイ・タイムライン検討ツールは、水害時の避難行動について考えるための手伝いをする入門的なツールであり、水害発生までの流れや避難情報・災害リスクを「知り」、自分が実際に逃げる際に直面するであろう課題に「気づき」、さらに安全に避難するためにはどうすれば良いか「考える」機会を提供することができる。マイ・タイムライン作成を通じて今後、あきたかた多言語支援リーダーが防災活動のキーパーソンとしても更に活躍することを期待して実施した。

➤現場での工夫:各自でチェックシート記入などの作業を行った際には、各参加者が何を書いたか聞き取り、アイデアが全体に共有されるような状態が作られていた。

8. 実施結果

本事例は、あきたかた災害多言語支援グループメンバーを対象に行われる「あきたかた多言語支援リーダー研修会」において、多言語版マイ・タイムライン検討ツールを導入していただいた事例である。開催体制としては、安芸高田市国際交流協会が主催となり、講師については、協会と普段から業務のつながりがある広島県自主防災アドバイザーの方が担ってくださる形となった。

今回のマイ・タイムライン作成講習に際しては、クリアが作成中のパワーポイント資料に、安芸高田市で最近起こった災害を組み込む等し、地域に合う形でカスタマイズしてご使用いただくことができた。多言語版マイ・タイムライン検討ツールと併せて、今後クリアホームページ掲載予定のパワーポイント資料、講習会補助動画資料を組み合わせ使用し、マイ・タイムライン講習会が更に各地域で自発的に開催されることが期待される。

9. 記録写真



>安芸高田多文化共生センターきらり



>会場は1F研修室



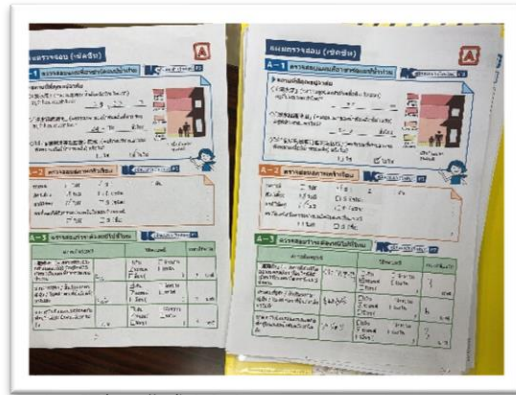
>安芸高田市災害多言語支援についての講義の様子



>講師はハザードマップ確認の補助も行う



>自分の住所をハザードマップで見つけた参加者



>タイ語版で作成されたチェックシート



>オブザーバー紹介の様子①



>オブザーバー紹介の様子②